

2011年8月19日

近日中に、2種類のHPVワクチンが使用できるようになります。両者の違いを表にまとめましたので、参考にしてください。

**2種類のHPVワクチンの違い**

	サーバリックス®	ガーダシル®
製造会社	GSK	MSD
HPV L1 VLP 型	HPV16/18 型	HPV 6/11/16/18 型
L1 タンパク量	20/20µg	20/40/40/20µg
産生システム	バキュロウイルス	酵母
アジュバント	500µg 水酸化アルミニウム懸濁液（アルミニウムとして） 50µg 3-脱アシル化-4'-モノホスホリルリピッド A	225µg アルミニウムヒドロキシフوسفェイト硫酸塩（アルミニウムとして）
接種対象	10歳以上の女性	9歳以上の女性
効能・効果	ヒトパピローマウイルス（HPV）16型及び18型感染に起因する子宮頸癌（扁平上皮細胞癌、腺癌）及びその前駆病変（子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）2及び3）の予防	HPV6,11,16 および 18 型感染に起因する子宮頸癌（扁平上皮癌および腺癌）及びその前駆病変（CIN1, 2 及び 3 並びに AIS）、外陰上皮内腫瘍（VIN）1, 2 及び 3 並びに膣上皮内腫瘍（VaIN）1, 2 および 3、尖圭コンジローマの予防
接種間隔および部位	0, 1, 6 ヶ月 筋肉内 （三角筋）	0, 2, 6 ヶ月 筋肉内 （三角筋または大腿四頭筋）
海外での初の承認 日本での発売開始	2007年5月 2009年12月	2006年6月 2011年8月

\* 両者のワクチンを交互接種した場合の有効性、安全性は確認されていないので、どちらか一方のみを3回接種する。